

## 津市の雨水対策

# 雨水管理総合計画に基づく事業を 平成31年度から本格的に開始します



平成31年1月9日

# 津市における雨水対策の歴史

津市は昭和34年の伊勢湾台風以降、昭和49年の豪雨、近年では平成16年の台風21号と度重なる浸水被害が発生しており、特に**昭和49年に発生した豪雨は市沿岸部の約3,500ヘクタールが最大48時間浸水し、大きな被害を受けました。**

## 公共下水道(都市下水路)事業

昭和35年度から事業着手

事業費	約545億円
排水区	27排水区
水路整備延長	34,318m

## 河川事業

昭和54年度から事業着手

事業費	約64億円
河川	6河川
河川整備延長	6,860m

## 昭和49年洪水時の浸水状況



志登茂川・横川合流点



江戸橋歩道橋付近



白塚町地内

# 放流先の河川と下水道計画の現状

浸水区域の雨水排水放流先(海岸沿線の一部を除く)

二級河川志登茂川、安濃川、岩田川、相川及び一級河川雲出川等の河川へ放流

放流先河川の  
現状

河川改修が進められているが、一部の下流区間の整備にとどまっている  
完成までに相当の期間が必要

浸水対策が進まない要因

下水道計画の  
現状

未改修河川の沿岸に多くの浸水区域が確認される  
現状の下水道計画は、排水先の河川が改修されていることを  
前提としている

このままでは、内水域の浸水対策が進まない

河川改修に頼らない雨水排水対策が必要

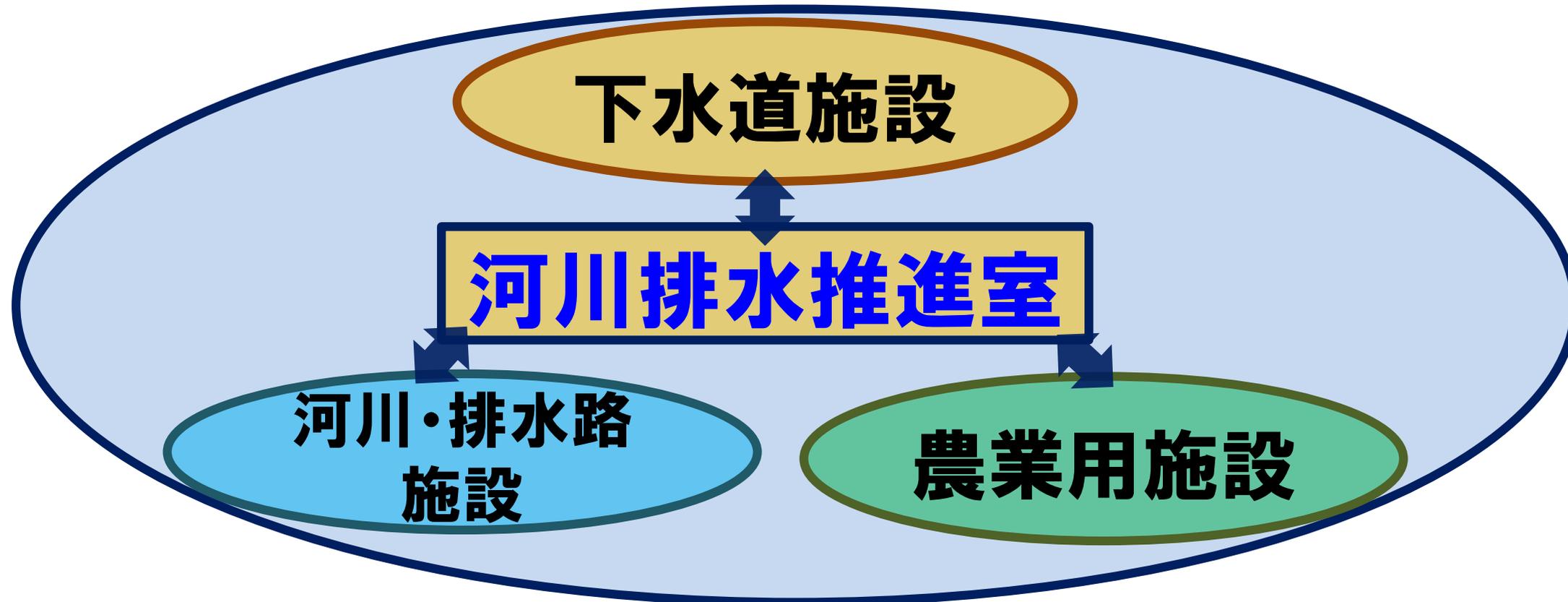
# 雨水対策推進のための組織づくり

浸水対策を進めるためには、下水道施設、河川・排水路施設、農業用施設の問題を総合的に考え、浸水対策計画を策定することが必要

平成28年度 建設部に河川排水推進室を設置

## 総合的な浸水対策計画

各浸水要因の分析と対応策を検討し、浸水対策案に反映する。



# 雨水管理総合計画の策定と事業化

平成29年度 津市雨水管理総合計画策定

策定費用 2,484万円

経済的かつ迅速に浸水被害を最小化する取り組みを推進することを目的に策定

## 津市雨水管理総合計画の内容

浸水対策を実施すべき区域の設定（14地区を重点対策地区に指定）  
財源や事業量を考慮した計画目標の設定

下水道計画に反映

平成30年度 下水道事業計画の変更

6月補正予算 1,600万円

平成31年度から雨水対策実施中の8地区から14地区に拡大して事業を推進

計画期間

2019年度(平成31年度)～2028年度

事業費

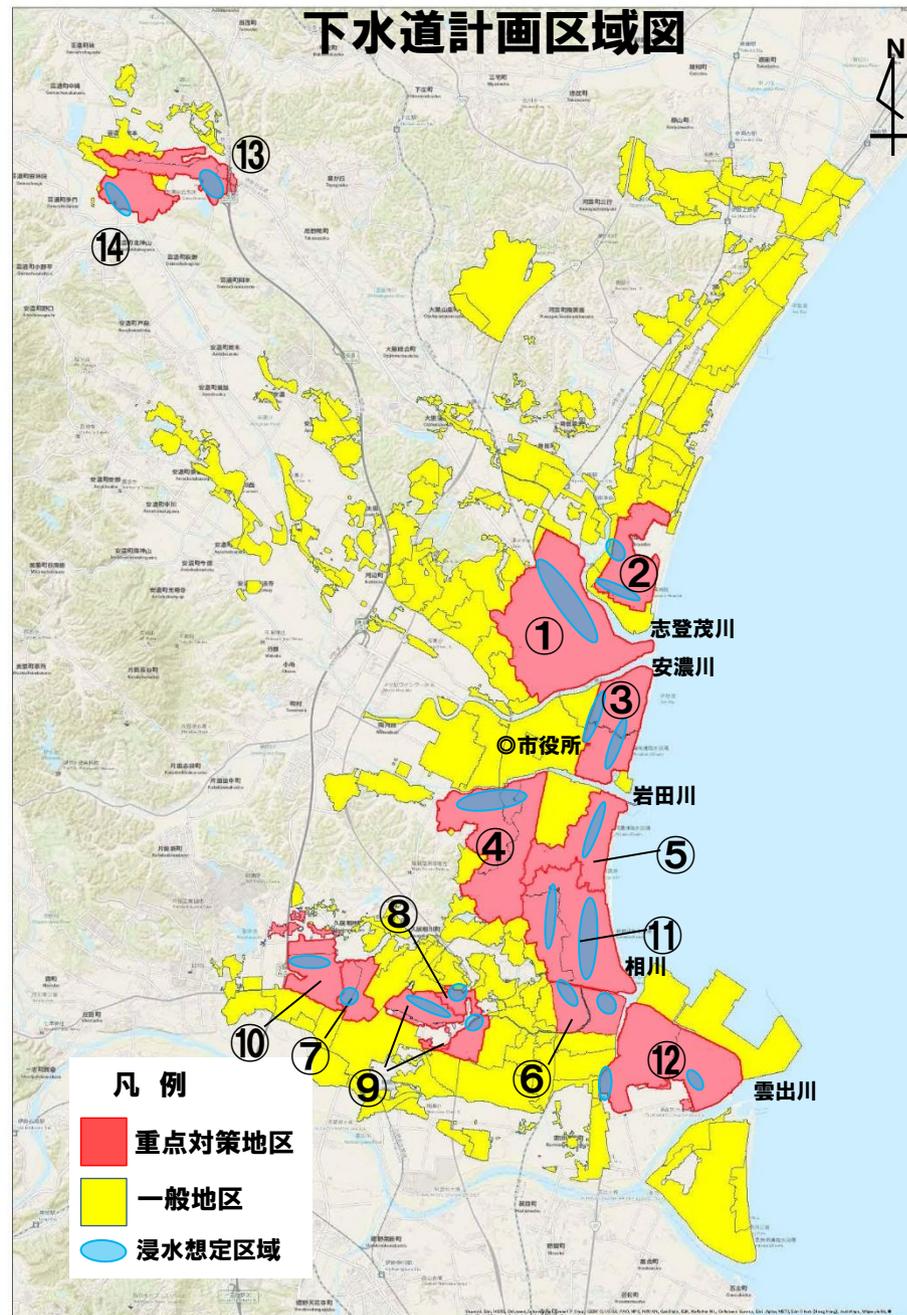
2019年度(平成31年度)から10年間で 約100億円

国の社会資本整備総合交付金を活用

# 平成31年度雨水対策事業費(予定)約8億円

津市

公共下水道雨水事業の展開



※一般地区とは、下水道計画区域の重点対策地区以外の区域

新規事業 1億5,000万円程度  
 継続事業 6億5,000万円程度

## 重点対策地区での実施内容(状況)

重点対策地区	排水区		内容(状況)
①上浜	上浜		上浜第2-1雨水幹線実施設計
②栗真町屋	栗真町屋		町屋第2雨水幹線実施設計
③橋内	橋内東部第二		乙部ポンプ場遊水池整備実施設計
④半田	半田川田		半田川田第1雨水幹線築造工事
⑤阿漕	阿漕		事業実施調整中
⑥高茶屋	天神		天神ポンプ場(上部建築)工事
⑦久居駅西部	北部第一		北部第一調整池整備
⑧立成小学校周辺	野村第二		雨水管渠築造完了に伴う移設物件等復旧工事
⑨野田池周辺	宮池	新規	国道165号横断水路の設計協議
	野村第一		野田池の洪水調整池への改良設計
⑩久居IC周辺	射場、明神風早	新規	県道横断部等の局部改良調査
⑪藤方	藤方第二	新規	貯留管実施設計
⑫雲出	長浜、伊倉津	新規	既存幹線縦断変更局部改良工事
⑬芸濃IC周辺	志登茂川上流第二	新規	バイパス水路実施設計
⑭棕本地区	安濃川上流左岸第二	新規	バイパス水路実施設計

# 雨水対策の取り組み(雨水幹線の延伸)

④半田地区

半田川田排水区

工事概要

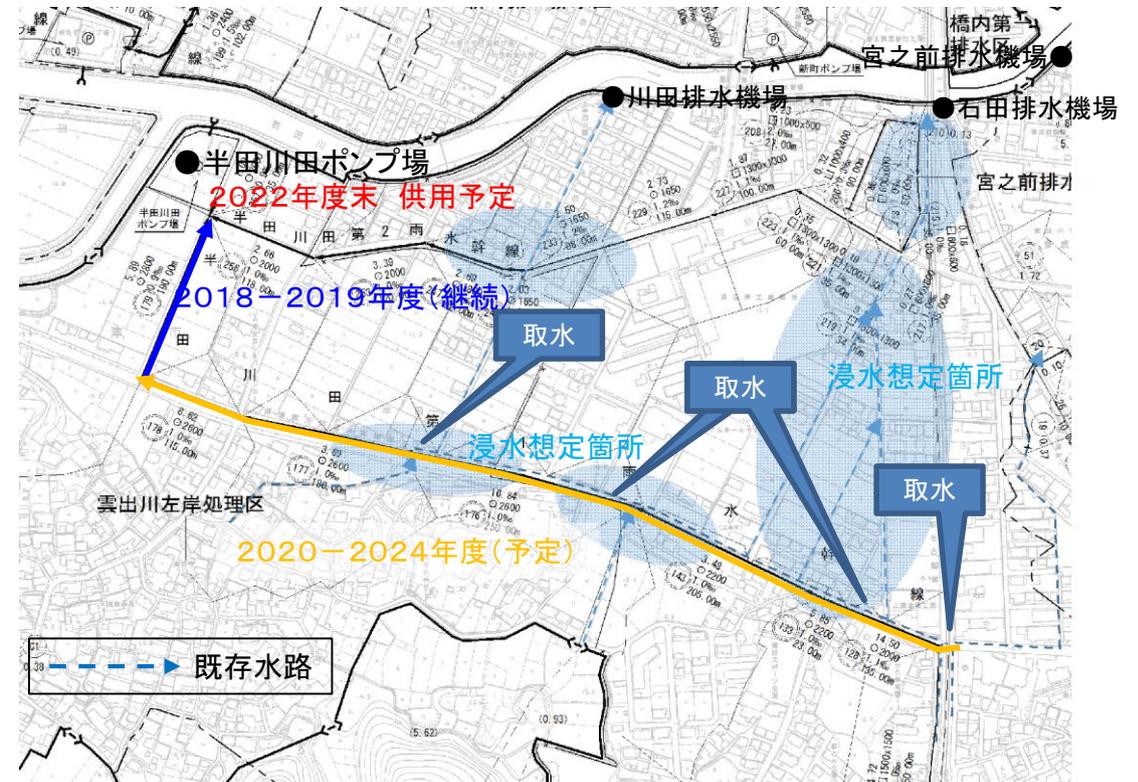
雨水ポンプ場・管渠建設

2019年度  
(平成31年度)  
予定事業概要

半田川田第1雨水幹線  
(φ2800mm L=200m)

対策概要

雨水管渠を近鉄横断  
まで施工し、岩田川右  
岸(修成地区等)に集  
中していた雨水排水を  
上流でカットし、浸水  
被害軽減を図る。



# 雨水対策の取り組み(雨水ポンプ場の新設)

⑥高茶屋地区

天神排水区

工事概要

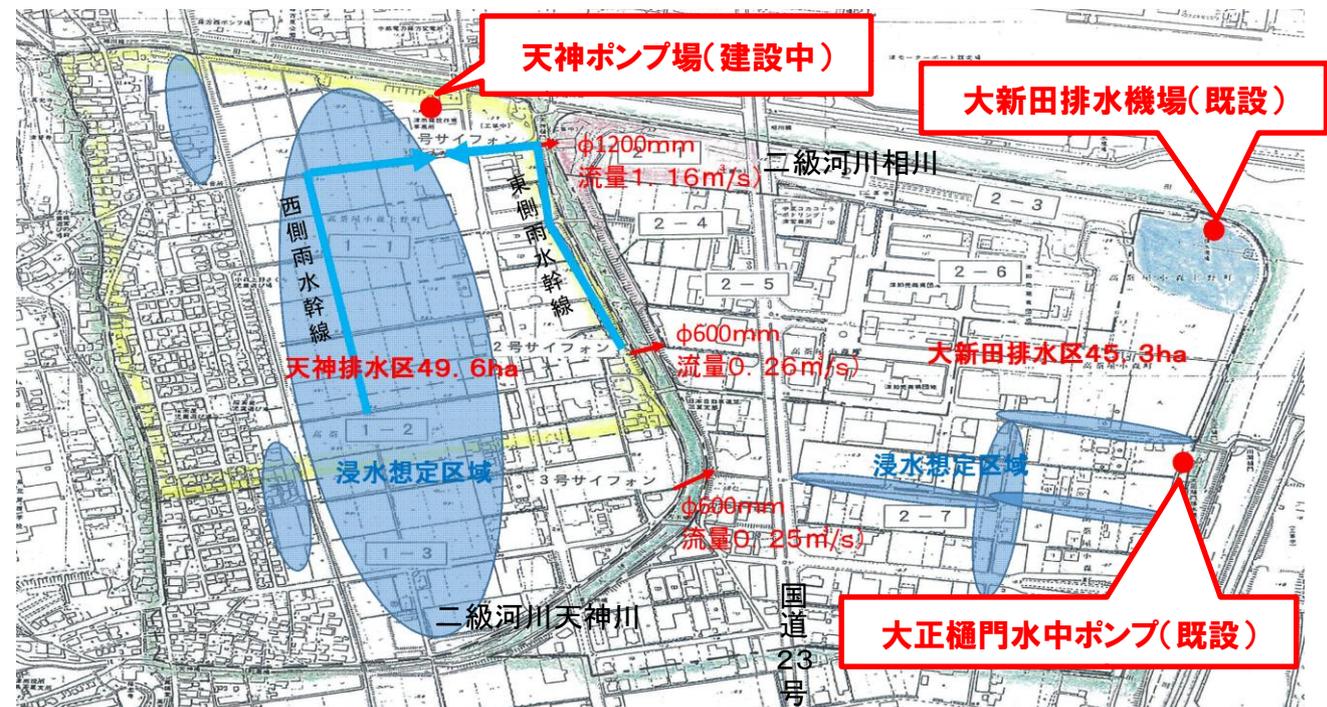
雨水ポンプ場・管渠建設

2019年度  
(平成31年度)  
予定事業概要

天神ポンプ場  
(上部建築)工事

対策概要

ポンプ場建設及びポンプ場東側の雨水幹線整備を推進し、大新田排水機場の負担軽減を図り、浸水被害軽減を図る。(大新田排水区へ流さない)



# 雨水対策の取り組み(洪水調整池の整備)

## ⑨野田池周辺地区

### 野村第一・宮池排水区

#### 工事概要

雨水幹線建設  
洪水調整池建設

#### 2019年度 (平成31年度) 予定事業概要

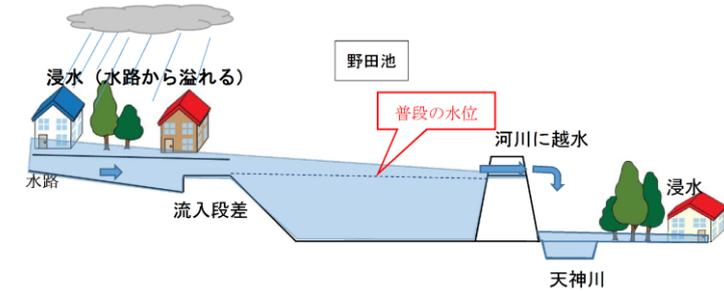
**野村第一排水区**  
野田池を洪水調整池への改良設計  
**宮池排水区**  
国道165号横断水路の設計協議

#### 対策概要

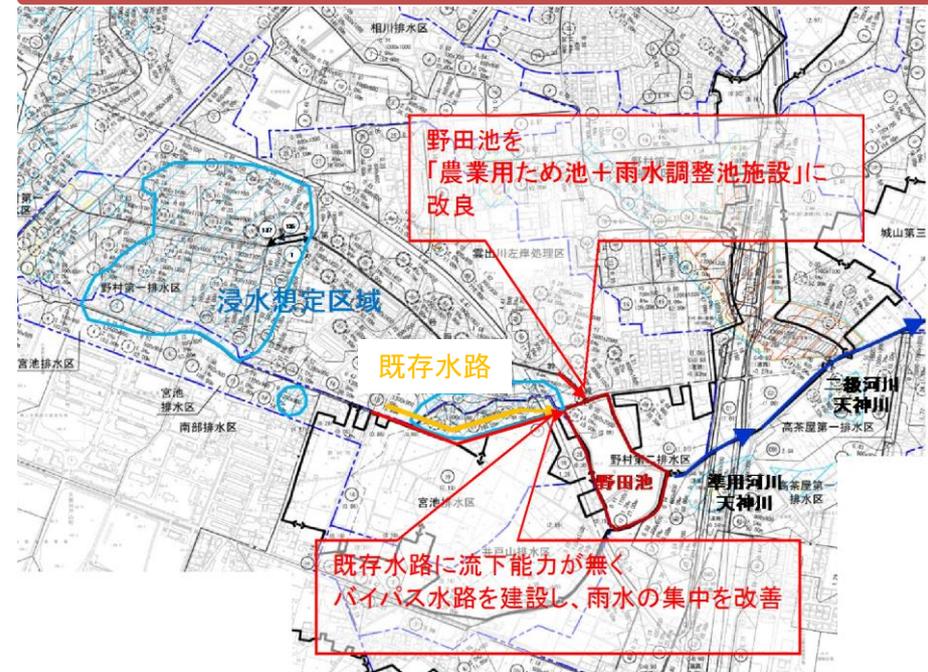
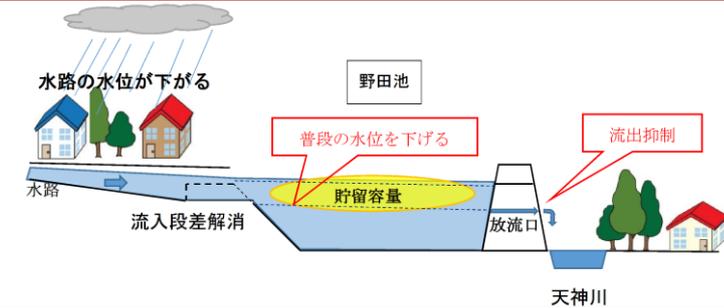
**野村第一排水区**  
野田池をため池併用調整池へ改良し、久居団地の浸水被害の解消、野田池下流部の天神川で発生する洪水を抑制する。

**宮池排水区**  
既設水路の能力不足をバイパス水路を施工し浸水解消を図る。

#### 現状



#### 改良後



# その他の取り組み(河川・排水路施設の改良)

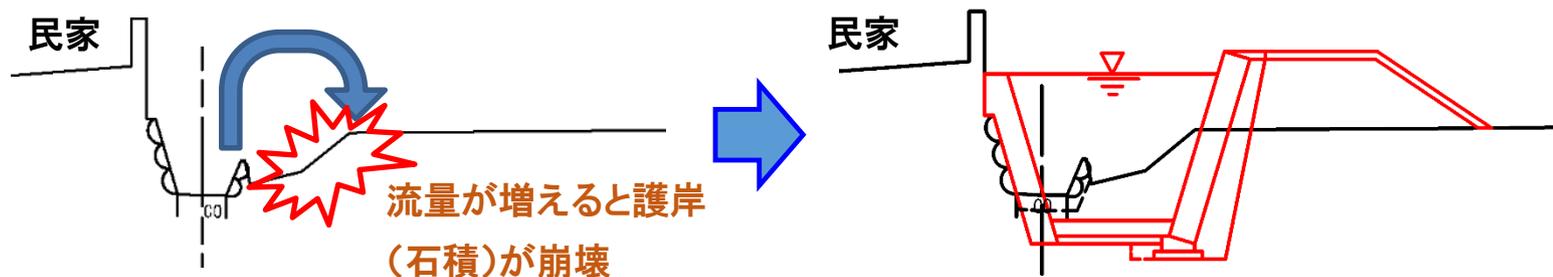
問題点を分析し、局所改良などの対策案に基づく対策工事を実施

平成30年度まで	測量調査設計	森町地内ほか 9カ所(広域検討含む)	920万円
	工事	森町地内 1カ所	600万円
平成31年度予定	測量調査設計	2カ所分	100万円程度
	工事・用地	森町地内ほか 3カ所	3,000万円程度

【局所的な改良の一例】(平成30年度測量調査 準用河川朝日新川の場合) ※平成31年度の額は、当初予算案 計上予定額



護岸を改修し、上下流に整合させた通水流量を確保することで対策



写真①  
上流から  
下流方向



写真②  
下流から  
上流方向



改修箇所  
(L=31m)

10年確率の断面に改修

# その他の取り組み(農業用施設の活用)

## 活用されていない農業用ため池を洪水調整池へ転用

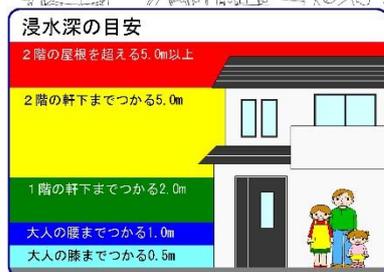
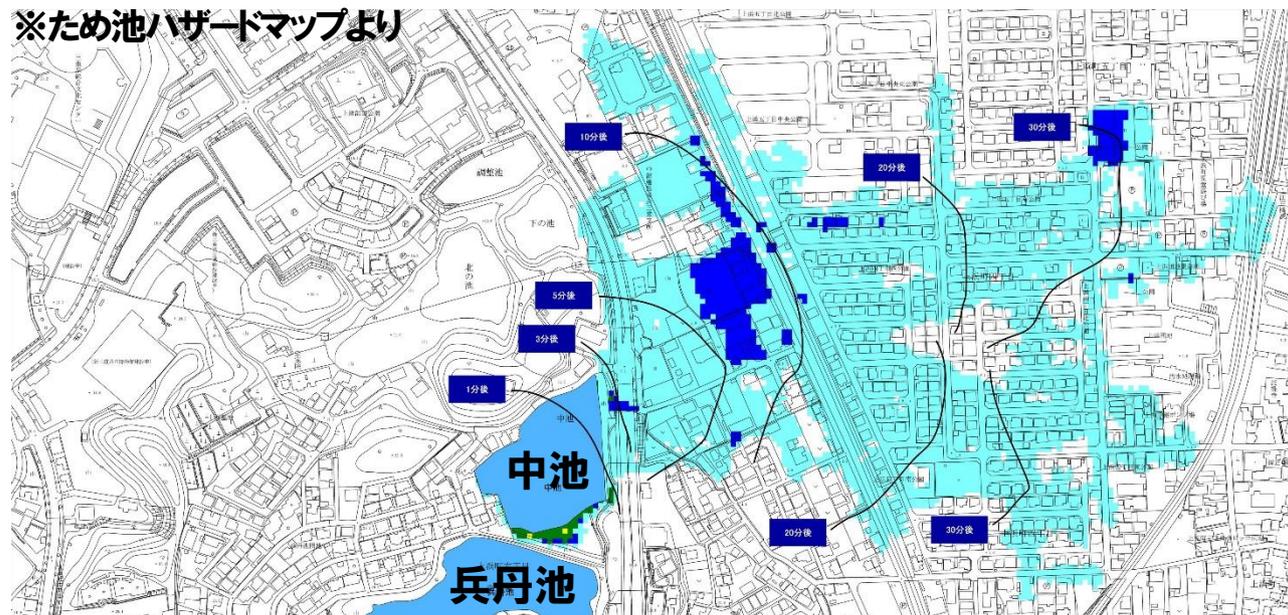
平成30年度まで	測量調査設計	中池・兵丹池ほか4池	765万円
平成31年度予定	測量調査設計	香水池・千歳池	400万円程度

### 【調整池化の一例】(平成30年度調査検討 中池・兵丹池の場合)

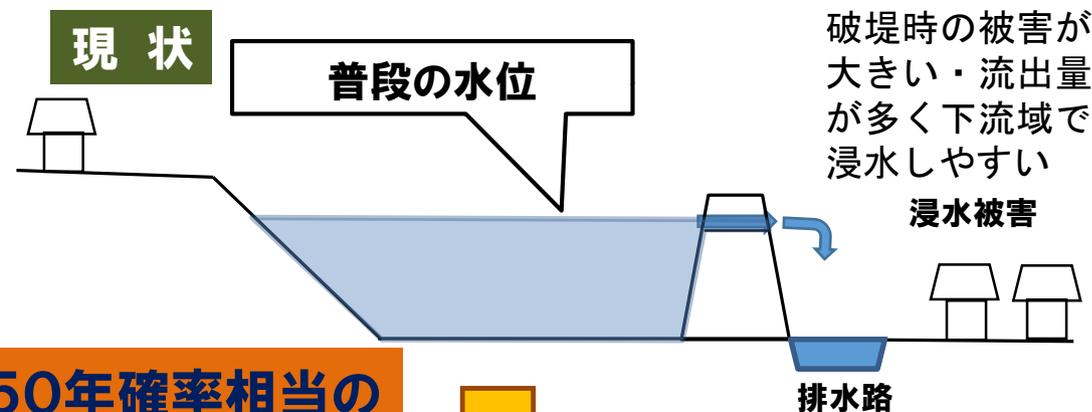
※平成31年度の額は、当初予算案 計上予定額

#### ため池堤防破堤時の浸水想定

※ため池ハザードマップより

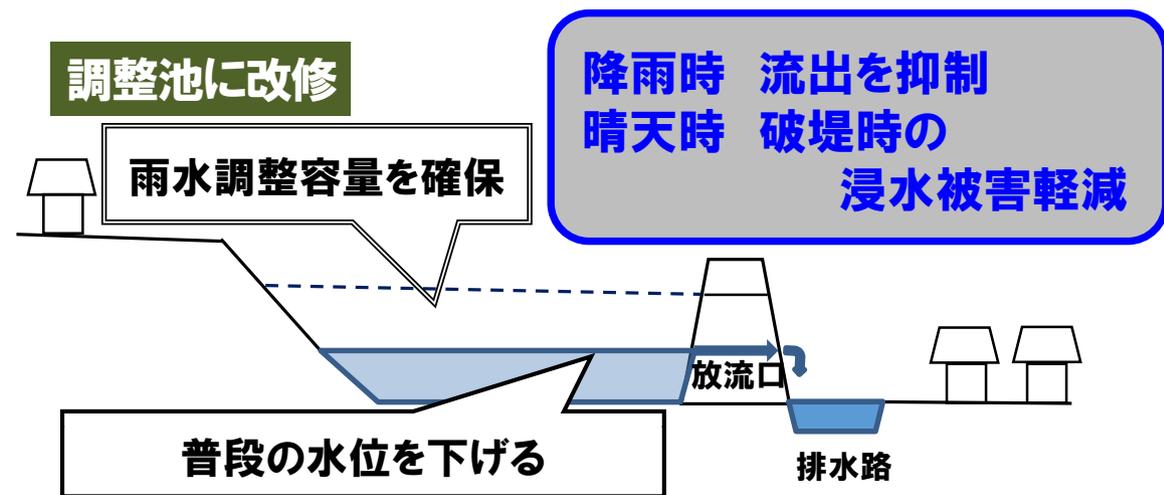


水深	
5.0m以上	… 2階の屋根を超える
2.0m~5.0m未満	… 2階の軒下までつかる
1.0m~2.0m未満	… 1階の軒下までつかる
0.5m~1.0m未満	… 大人の腰までつかる
0.5m未満	… 大人の膝までつかる



破堤時の被害が大きい・流出量が多く下流域で浸水しやすい  
浸水被害

50年確率相当の降雨に対応



降雨時 流出を抑制  
晴天時 破堤時の浸水被害軽減

調整池に改修  
雨水調整容量を確保

普段の水位を下げる